

JA茨木市自己改革取組宣言

これまでも、これからも、地域とともに JA茨木市は「総合事業」を展開します

- 経営方針である「人」「自然」「地域」とのふれあい・きずなを大切にします。
- 地域に根ざす協同組合として、総合事業を行うメリットを最大限に生かします。
- 持続可能な都市農業と豊かでくらしやすい地域社会の実現づくりに貢献します。
- 組合員、地域の方々から親しまれ必要とされる組織を目指します。

協同組合とは、組合員の一人ひとりが力を合わせ、みんなの願いをかなえていく組織です。

JAは、農業に従事する正組合員と、JAの事業利用を希望し加入いただいた農業者以外の地域住民である准組合員により組織され、組合員の皆さまの営農と生活を守るためにさまざまな事業を総合的に展開し、地域農業の振興や地域づくりに取り組んでいます。

これらのことは、信用事業や共済事業などを含めた総合事業全体の収支のなかで実施しているからこそ、JAの経営基盤が安定し、営農指導員の配置や多額の農業施設投資が可能となるのであり、正組合員のみならず准組合員の事業利用が地域農業の振興には不可欠です。

これからも正・准組合員の皆さまに対する総合事業の展開を通じて、地域農業の核を担うJA・より良い地域社会づくりの中心的役割を担うJAを目指してまいります。

本宣言では、JA自己改革（「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」）に向けた主な取り組みを以下の通りご紹介します。

（農業者の所得増大）

1. 地域特産品の創造

【目標：野菜苗の出荷量年間25,000本→70,000本（3年後）】

野菜苗を栽培し、農家と営農指導が連携して安定生産・安定出荷を図りながら地域特産品を創造していきます。また直売所の品揃えの充実と新たな販売チャネルの開拓に取り組みます。

2. 地元産米の集荷と JA ブランド米の販売強化

【目標：米集荷数（30 kg/袋）年間7,076袋→8,000袋（3年後）】

地元産米の安定供給のため集荷に努め、JA ブランド米「農家味だより」を直売所を通じて拡販します。また市内小学校の学校給食に提供していきます。

（農業生産の増大）

3. 担い手の確保・育成への支援

【目標：営農塾・若葉塾受講者数累計 168 名→200 名（3年後）】

営農塾、若葉塾の開催を継続的に行い、新規就農者や定年帰農者等担い手を育て、その活動を広報誌、ホームページ等を通じて准組合員にも広く周知し、担い手の確保・育成を図ります。

（地域の活性化）

4. 支店協同活動の充実

【目標：4 支店参加者数 1,000 人】

支店を拠点として組合員、関係組織、役職員等広く地域の方々も参加できる活動（支店フェスタ等）の充実を通じて地域の活性化に貢献します。

5. 地区単位クラブの活性化

【目標：11 地区会員数 1,000 人】

積極的に活動の周知を行い、新規会員の加入促進に努めます。

なお、当 JA の営農指導事業の主な取り組みは次のとおりで、今年度予算額は営農事業関係：2,200万円となっております。

- ①女性職員も含めたスーパーアグリアドバイザー・アグリアドバイザーの養成
- ②巡回指導・講習会等を通じた適正施肥や農薬の安全指導、農作業事故防止の指導、土壌分析を活用した効率的な施肥設計の提案
- ③地域農業に適した安全・安心な農産物栽培に活用いただく「栽培管理べんり帳」の改訂版発行（令和3年発行予定）
- ④農作業受託事業への支援
- ⑤有害鳥獣対策の強化
- ⑥休耕地の有効活用と農業の持つ多面的機能への理解の促進
- ⑦予約購買の利用拡大と系統組織と連携した低コスト肥料等の取扱い増加